

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

明けましておめでとうございます。今年の正月は例年と異なり、新年行事を自粛された方も多かったと思いますが、皆様はどの様にお過ごしになりましたでしょうか。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行したことにより、三密の回避など「新しい生活様式」の実践等により、大きく日常生活が変化した一年であったと思います。

未だ感染症は猛威を振るっていますが、今年中にはワクチンが普及するのではないかとの予測もあり、それまでの間、感染拡大防止策の徹底と、厳しい状況下に置かれた皆様の支援策の充実を継続して県に働き掛けてまいります。

また、こうした状況を踏まえつつ、県では今後重点的に取り組むべき方向性を示す「あいちビジョン2030」が策定されましたが、このビジョンでは今後も起こりうる感染症への対応や大規模自然災害の備えの充実とともに、人口減少の進行と人生100年時代とも言えるべき長寿社会の到来に向け、少子高齢化対策の充実が盛り込まれています。

更に、産業面においては第4次産業革命の進展等に伴い、産業構造や働き方が大きく変わると考えられることから、リニア中央新幹線開業を視野に入れた、ジブリパークやアジア競技大会などのビッグプロジェクトを着実に進め、地域の更なる発展に繋げるとともに、これらを最大限活かしてイノベーションを創出する好循環を生み出すことも盛り込まれており、これらの達成に向けて引き続き取り組んでまいります。

最後に、本年一年が皆様にとって幸多き年となるようご祈念申し上げますとともに、変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 